

2019 年度事業報告

1. 荒川クリーンエイドの運営

【事業の概要】

荒川水系全体で荒川クリーンエイドを運営した。ごみを拾うだけでなく、参加者が河川ごみによる環境負荷や発生原因等について学び、日頃からできるだけごみを生まない生活を実践するような啓発を充実させた。

【主な実施事項】

① 清掃活動（調べるごみ拾い）

2019 年も、荒川流域において清掃活動の実施と支援を行った。約 230 会場がエントリーし、190 会場で実施、延べ 1.2 万人が参加した（集計期間：2019 年 1 月～12 月）。

② 体験・説明会の開催

8 月に体験・説明会、4 月に体験会を開催した。初めて実施する団体、実施担当者が交代する団体には参加を要請し、運営方針や実施方法の周知を図った。

③ 主催・共催会場の運営

12 月にふるさと清掃運動会実行委員会、6 月、12 月に豪田ヨシオ部等との共催活動を運営した。様々な主体に荒川クリーンエイドを普及させた。

④ 実施の運営サポート

実施団体の要望に応じて、企業等を対象に実施の運営サポートを行った（約 50 団体）。

⑤ 「ごみをできるだけ生まないライフスタイル」の啓発 ～マイボトル持参の呼びかけ～

河川ごみの自然環境への悪影響や、ごみをできるだけ生まないライフスタイルについて考える機会を提供することを目的にマイボトルの持参を呼びかけた。

⑥ 河川敷利用者への啓発

走る広告塔「あらくりくん号」により活動を周知した。

⑦ 効率的な河川ごみの回収に向けた取り組み（三井物産環境基金）

河川ごみが溜まるメカニズムを調査し、より効率的な活動に関する結果を Web サイトに掲載した。

2. 生物多様性の保全

【事業方針】

里川創造プロジェクトについては、国土交通省荒川下流河川事務所の「荒川下流自然管理アダプト制度」に協力し、荒川クリーンエイドを中心に、楽しみ、学びながら都市の自然を守ることを目指し、他の市民団体、学校、企業等と連携して自然地の環境保全と普及啓発を進めた。

絶滅危惧種の復活プロジェクトでは、行政や地域の市民団体と連携して環境の再生活動を行った。

【主な実施事項】

① 里川創造プロジェクト

江戸川区小松川自然地においては、「里川小松川自然地協議会」の構成団体として、地域の市民団体や学校、企業と協働し、クリーンエイド、外来種の除草、自然環境教室等、自然地の環境保全とその普及啓発を推進した。荒川下流自然管理アダプト契約を結び、国土交通省と連携して実施した。

足立区千住桜木地区においても、荒川下流自然管理アダプト契約を結び、クリーンエイド活動を中心

に、環境保全活動を行った。

また、その他の地域についても、荒川クリーンエイド実施団体の要望に応じて、外来種の除草を行い、生物多様性の保全活動を推進した。

② 絶滅危惧種の復活プロジェクト

荒川河川敷のヒメイトトンボの成虫の生息場保全を目的に、行政、地域の市民団体等と連携して、生息環境の整備、および同種の生息個体数のモニタリングを実施した。

3. 環境教育の推進

【事業方針】

荒川クリーンエイド実施団体や地域の団体と連携しながら、人々が河川ごみの問題について学び、環境保全意識を高められるよう、荒川をフィールドとした環境教育を推進した。

人財育成プログラムについては、若者層への啓発の機会として、新入社員研修を中心に、社会性の向上・環境意識の醸成等を付加しながら実施した。

【主な実施事項】

① 学校教育の支援

小松川自然地・里川創造プロジェクトの一環として、小学校の総合学習の支援を行った。また、OLTVECTSと連携し、電子環境教育アプリ-地球そのなかを探ろう「荒川ステージ」-を更新中である。

② 人財育成プログラムの実施

チームビルディングを体験しながら河川ごみの環境負荷について学ぶ「環境に悪いごみ拾いゲーム」を中心に、プログラムをブラッシュアップし、新入社員研修を実施した。

③ 自然環境教室の開催と支援

クリーンエイドの一環として、希望する企業に対し、自然環境教室のプログラム運営を行った。

4. 水質調査の実施

【事業方針】

身近な水環境のモニタリングを通じ、水環境への関心を高めることを目的に、6月の「身近な水環境の全国一斉調査」に参加した。

【主な実施事項】

① 「身近な水環境の全国一斉調査」への参加

荒川本川及びその支川等での調査協力者を募集し、6月を中心に、調査を実施した。その調査結果を取りまとめ、全国水環境マップ実行委員会に提出した。調査項目は化学的酸素要求量COD（低濃度）とした。また、12月に開催された同実行委員会に参加し、調査活動の展開や運営等について協議した。

5. 流域連携

【事業方針】

荒川流域内の交流と、流域の課題の共有を目的に、源流域、中流域、及び下流域の団体と連携した活動を推進した。

【主な実施事項】

① 荒川流域再生プロジェクト

2020年3月 NPO 法人荒川流域ネットワークが中心に運営する「荒川流域再生シンポジウム」は COVID-19 の拡大防止のため中止となった。

② 埼玉県河川環境団体連絡協議会や川の再生交流会へ理事が参加

埼玉県内の河川団体が加盟する埼玉県河川環境団体連絡協議会（埼河連）や2月に開催された「埼玉県・川の再生交流会」（主催：埼玉県）に役員が参加、パネル出展した。

③ 荒川自然懇談会を通じた荒川下流河川事務所との協働

当フォーラム会員が多数参画する荒川自然連絡会と荒川下流河川事務所との間で、官民協働で開催されている「荒川自然懇談会」は COVID-19 の拡大防止のため中止となった。

④ 秩父森づくりの会の定例活動

源流域との交流を引き続き行っていくため、秩父市森づくり課が運営する「秩父森づくりの会」に入会している。

6. 他セクターや全国・世界とつながる活動

【事業方針】

全国の川や海で活動する団体とつながって河川ごみ問題の解決、発生抑制に取り組むことを目指し、業界団体、行政が進めるごみの発生抑制に向けた啓発に、データ提供等を通じて協力した。

【主な実施事項】

① 関連団体との連携

日本プラスチック工業連盟主催講演会での講演および情報共有。

② 海ごみ問題との連携 ～一般社団法人 JEAN との連携～

国際調査期間の荒川クリーンエイドのごみ調査結果を JEAN に提供した。調査データは国際海岸クリーンアップ（ICC）キャンペーンに報告され、世界の海洋ごみ調査と世界の海ごみ問題の解決に貢献した。

③ 長崎県対馬島現地視察

三井物産環境基金を活用し、対馬市を現地踏査した。

7. 広報・情報発信

【方針】

各種情報媒体で、主に次の目的の広報・情報発信活動を展開した。

- ・荒川クリーンエイドへの参加者・賛同者を増やす。
- ・会員・関係者間のコミュニケーションを促進し、情報や運営方針の共有を図る。
- ・河川ごみの発生抑制を目指し、調査データ等を活用した情報発信を行う。

【主な実施事項】

① Web サイト

興味を引く Web サイト運営に努めた。

② ニュースレター

会員・関係者との情報共有を図るべく、3月発行した（累計1,000部）。

③ Eメールニュース（アラマガ）

毎月初めに（年 12 回）配信し、各月の旬のニュースを届けた（各回約 1,000 名に配信）。

④ 報告集

ごみの調査データや活動の結果を集約した報告集を 3 月に発行した（1,500 部）。会員、行政、関係者および情報拠点等に配布した。

⑤ ポスター、リーフレット

実施団体が秋のクリーンエイド参加者を募集するツールとしてポスター 700 部、リーフレット 1 万部を作成した。実施団体、沿川自治体などに活用いただいた他、情報拠点や荒川下流河川事務所の協力により、駅のラック等にリーフレットを配置いただいた。

⑥ ソーシャルメディア

SNS を活用してタイムリーな話題を随時提供し、荒川クリーンエイドや河川ごみ問題への関心を高めた。

⑦ イベント出展

6 月江戸川区環境フェアに出展し、荒川クリーンエイドへの参加の促進、河川ごみの発生抑制につながる情報発信を行った。荒川クリーンエイド実施団体や情報拠点等が、イベント等で荒川クリーンエイドや河川ごみ問題について効果的に情報発信できるよう、紙芝居等の貸し出しを行った。

⑧ セミナー開催、外部講演

8 月表浜 BLUE WALK2019、12 月マテリアルライフ学会、2 月岩手県等にて講演し、河川/海洋ごみ問題等の情報発信を行った。

⑨ メディア出演

TV やラジオ等の取材を受けた（5 回）

8. 組織運営

【方針】

報告会及び連絡会を通じて、会員等とのコミュニケーションを活性化し、また、理事・運営委員会を通じて、より円滑な組織運営を図った。

【主な実施事項】

○報告会・連絡会の開催

2 月に報告会を開催し、活動の成果等について会員・関係者等と共有した。また功労者賞を贈呈した。報告会に併せ、会員・関係者と活動に関する情報を共有し、意見交換する連絡会を開催した。

○理事・運営委員会の開催

総会議案等について協議・決定するため理事・運営委員会を開催した。

○ファンドレイジング（資金調達）

企業の協賛事業活動を積極的に進め、自主財源基盤の強化に努めた。

お宝エイドやソフトバンクのつながる募金を活用し、気軽に寄付できる場を用意した。

2019 年度活動概要一覧

事業	活動名	実施月・会場等	概要
1 荒川ク リーン エイ ドの運 営	荒川クリーンエイド 2019	4月～3月	実施約 190、のべ 1.2 万人参加
	説明会・体験会	8月 足立区生涯学習センター 4月下平井水辺の楽校	活動の趣旨・実施方法の説明等
	主催・共催会場の運営	6月,12月 12月	豪田ヨシオ部と共催 ふるさと清掃運動会と共催
	啓発	クリーンエイド実施時、イベント時等	マイボトル持参、エコライフのすすめ
	実施サポート	随時	企業、学校等の依頼に応じて随時
	効率的な河川ごみ回収	随時	現地調査
2 生物多 様性 の保 全	里川創造プロジェクト	随時	小学校、企業等の活動支援
	絶滅危惧種の復活プロジェクト	5月～3月	地域団体、自治体等と連携
3 環境 教育	学校教育の支援	小松川自然地	沿川の小学校の環境学習支援
	人財育成プログラム	随時	新入社員研修、プログラム開発
	自然環境教室の開催と支援	随時	クリーンエイドの後に希望に応じて開催
	環境教育アプリ SOIL	随時	荒川や河川ごみ学習アプリ開発
4 水質 調査	身近な水環境の全国一斉調査	6月	水質調査
		12月	全国水環境マップ実行委員会出席
5 流域 連携	荒川流域再生プロジェクト	3月	シンポジウム（中止）
	埼玉川の再生交流会	2月	役員が参加、パネル出展
	荒川自然懇談会	2月	市民団体、河川事務所と協議（中止）
6 他セ クター や全 国・世 界と つな がる 活 動	関連団体との連携	3/18,9/9-10 随時	日本プラスチック工業連盟
	一般社団法人 JEAN との連携	随時	調べるごみ拾いのデータを提供 他
	対馬島現地視察	6月	漂着ごみ視察
7 広報・ 情 報 発 信	Web サイト、SNS	随時	随時更新
	ニュースレター	3月に発行	各 1,000 部制作配送
	Eメールニュース（メールマガジン）	毎月初め	各回約 1,000 人に 12 回発信
	報告集	3月発行	1,500 部制作
	ポスター、リーフレット(*)	8月発行	ポスター 7 百部、リーフレット 1 万部。参加者募集
	イベント出展	6月	江戸川区環境フェアに出展
	メディア出演	随時	テレビ、ラジオ等に出演（5回）
8 運 営	第 20 回定期総会	5月 北とびあ	昨年度事業報告、当年度事業計画の協議等
	報告会・連絡会	2月 北とびあ	クリーンエイド 2019 成果報告、意見交換等
	理事会・運営委員会	4月、5月、7月	総会資料、役員等の確認